



表紙：制作テーマ
 小さな種から、
 実りある明日。

作：北林 小波（きたばやし こなみ）
 1961年青森市生まれ。イラストレーター。
 東京在住だが、毎年青森で作品展をして
 いる。主にパステルを使用した絵を描く。

CONTENTS／目次

[特集]
**住み慣れた地域で、
 支え合い、共に生きる** ▶P2

[連載]
 地域から魅力発信！
 「ハッピー♡リレー」〈西北地域〉/
 地域の旬食材レシピ ▶P6

青森の未来に全力！県職員最前線レポート
 「地域の外から継続的に関わる『関係人口』を増やしたい！」/
 青森県職員の給与と職員数のあらし／
 「青森で就職したい」を応援します！/
 持続可能な未来を創るために
 「未来のAomoriシンポジウム」を開催します！ ▶P7

申吾のほっとコラム/
 あおもりインフォメーション ▶P8

医療の進歩や健康意識の向上などによって、人生100年時代の到来、ということが言われるようになってきています。

一方で、日本は、2025年には1947年から1949年生まれのいわゆる団塊の世代の方々が全て75歳以上となります。これまでに経験したことのない超高齢化時代を迎え、交通・買物・食事など高齢者の日常生活の維持・確保が大きな課題です。

県では、超高齢化時代の到来を見据え、誰もが住み慣れた地域の中で居場所や生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくりに向けて、市町村など関係機関と連携しながら、地域主体の取組を進めています。

大切なのは、住民の方々と地域における様々な団体が主体的によく話し合い、自分たちに何ができるのかをしっかりと考え、行動していくことです。

実際に、県内各地で、住民や各種団体が中心となった様々な取り組みが動き始めています。

「つながり」や「助け合い」の環を広げ、私たち一人ひとりの力を合わせ、持続可能な地域づくりをめざしていきましょう。

**住み慣れた地域で、
 支え合い、共に生きる**

